

土浦市の施設整備にPFI手法を導入することについて



海老原一郎議員

質問 PFIとは、公共事業を実施するための新しい手法であり、民間の資金と経営能力、技術力を活用し、公共施設等の設計、建設だけでなく、施設の維持管理や運営まで民間が行うものである。本市では、第7次総合計画において、新庁舎の建設や公共施設の建設、維持管理、運営等について、PFI事業の可能性を検証するとあるが、現在具体的に検証しているのか伺う。

市長 市庁舎については平成11年に検討した経緯があり、民間のコンサルタントと協力し、庁舎、図書館、市民交流プラザの整備について何度か勉強会を行い、その結果、一定の削減効果が期待できるといふ研究成果が得られた。ただし、用地が決まらない中で、その後もPFIでの

市庁舎への活用事例がないことなどから、現総合計画の計画期間において具体的な検討は行っていない。また、市庁舎以外の施設整備についても現在のところ検討は行っていない状況である。

(掲載以外の質問事項)
二 筑波(旧関東つくば)銀行の本部機能がつくば市に移転したことによる土浦市への影響について



市長の目指すコンパクトシティとは、その具体的な施策を問う



柳澤 明 議員

質問 コンパクトシティという表現は、2006年のまちづくり3法改正以来、中心市街地活性化に向けた基本的な考え方として急速に広まったものであるが、本市にお

ても第7次総合計画等の中に、コンパクトなまちづくりといった表現で明記されている。そこで、市長の考えるコンパクトシティの具体的な施策、構想を伺う。

市長 国においては、地域活性化の重点施策としてコンパクトシティ、訳すれば集約型都市構造の推進を取り上げており、本市が進める中心市街地の活性化に向けた取り組みと一致している。具体的な施策としては、ハード事業では「歴史の小径」整備事業、都市景観整備事業、駅北再開発事業など、ソフト事業では、まちづくり活性化バス運行事業、食のまちづくりの推進などの位置づけを行っている。今後は、中心市街地活性化基本計画の策定を進める中で、コンパクトシティの形成を目指したいと考えている。



(仮称) 土浦市ストップ温暖化推進員の養成について



吉田千鶴子議員

質問 静岡県三島市では、地球温暖化防止対策について普及啓発活動を行う、ストップ温暖化推進員を養成しており、推進員は地球温暖化の現状、家庭で出来る地球温暖化対策等の講演を行っている。こうしたことは、市民と行政の協働がさらに図れるものであることから、本市での(仮称)土浦市ストップ温暖化推進員の養成について、見解を伺う。

市民生活 地球温暖化防止対策を推進していく中で、市民を牽引する環境リーダーの育成は不可欠であると考えている。現在策定中の地球温暖化防止行動計画では、土浦市環境基本計画を推進する母体である市民や事業者、行政で組織する環境基本計画推進協議会の循環型社会形成部会を核として、まちづくり市民会議や地球温暖化防止活動推進セ

ンター、茨城県地球温暖化防止活動推進員などの皆さまとネットワークを構築しながら推進していく所存である。今後の取り組みの進捗状況を勘案しながら、本市独自の仕組みについて検討してまいります。

(掲載以外の質問事項)
二 公用車への広告掲載について

手話通訳者について

耳の不自由な方が本会議の傍聴を希望される場合には、手話通訳者の派遣を依頼いたします。ご利用の際には、少なくとも一週間前までに議会事務局へお申し込みください。

議会を傍聴してみませんか

インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしております。
●電話 029(826)1111 内線 2277
●FAX 029(826)3379